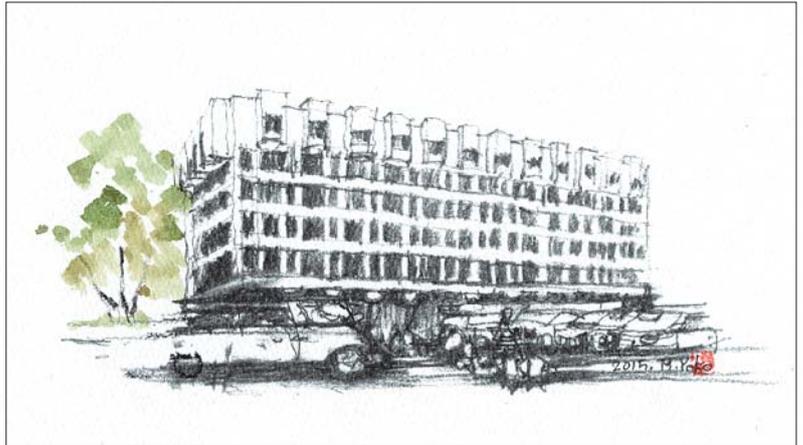


(2015-16年度 国際ロータリー・テーマ)



水戸市庁舎 (水戸市)

死海を誤解してました

鈴木 尚 (広告)

その国に旅行に行くといえば、異口同音に「危なくないの」「イスラミックステイトは大丈夫」という言葉がオウム返しに戻ってくる国イスラエルに、3月24日から1週間ツアー旅行に参加して来ました。昔からなんとしても一度はこの目で見てみたい、体感したいという思いを前々から募らせていた発露の末です。ご存じのように、首都エルサレムはユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地が2km四方に肩を並べています。ソロモン王やダビデ王の時代から続く世界遺産にも登録されている都市です。

エルサレムの話は、とてもこのスペースでは無理なので死海についての体験をお話したいと思います。死海は、世界で一番深い場所であるということをご存知だったでしょうか。海拔-440m。それが死海のある場所です。ヨルダンからイスラエルにまたがる大地溝帯にあります。大地溝帯をフライパンと考えれば、死海はまさに底に溜まった水溜りで、砂漠化の乾燥地帯ですからさらに塩分が煮詰まった場所ともいえます。塩分濃度は、海水のおよそ10倍とされ、コップ一杯が致死量とガイドさんが説明してくれました。あのボーリングのボールが浮くのですから、想像して見てください……。

小生90kgが簡単に浮きます。力を入れず、ゆっくりと背中から湖水に身を任せれば、生前の記憶を呼び覚ます羊水に浮かんだような、浮遊感を体感できます。浮いたのはいいですが、立つ時に浮力が強いので1mぐらいの湖底に両足を着くのに、少しバランスを崩しそうになるので苦労します。

「顔を仰向けにしてください」「目に入ったら痛くて大変なことになりますからね」ガイドの注意する声がかかります。身体に傷がある場合も、推して知るべしです。文字通り、傷口に塩を塗り込む行為となりますのでご注意ください。楽しみ方は泳ぐのでは無く、あくまで浮いているということ。15分ぐらいを目安に休憩を挟みながら、2セットぐらいがここでの無難な時間の過ごし方と言えます。

日本の温泉の「美人の湯」は強塩泉が多いとされますが、死海はウルトラ強塩水+多くのミネラル分が溶け込んでいますので、肌が本当にスベスベになります。水はヌルッとした感覚です。匂いはほとんどありません。1週間も滞在できれば、効果を実感できる事請け合いです。というわけで、死海を誤解してました。ちょっと行きにくいところですが、お近くにお立ち寄りの際にはゼヒモンです。

No. 35 2016・4・12

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 八文字典昭 ■幹事 田中 邦彦

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



誰にとっても命は最も大切なもの。生きるには身体を作り活動するエネルギーを得るために、食は絶対に欠かせない。その食物は、肉魚・穀物野菜・キノコなど、すべて動物・植物・菌類と云う生き物だ。そして食べれば必ずウンコが出るが、その排泄もまた、生きるためには欠かせない。

ウンコは臭くて汚いが、元々は美味しいご馳走であり、命ある生き物だった。いったい誰が、それを汚物に変えたのだ！たとえ生きるための権利とは言え、食べて多くの命を奪い、ご馳走をウンコに変えた自分に責任はないのか？この難問に直面し、私は狼狽えた。きっかけは、1973年秋にニュースで知った糞尿処理場建設反対の住民運動だった。自分でウンコをしておきながら、汚いからその始末は余所でやれと云うエゴに強い憤りを覚えながらも、それまでずっと便所にし続けてきた私もあまり変わらないのではないかと考えた。

しかし答えはすぐに出た。枯れ木や落ち葉を分解して土に還すキノコ（菌類）は、動物の死骸やウンコまで腐らせて土を肥やし、そこから植物が育って森を造っていたのだ。トイレにすれば迷惑なゴミになるウンコが、自然の中では菌類によって新たな命を育む大切な資源になっていたのだ。トイレではなく、森でウンコをすればいいのだ。

年が明けた1974年1月1日、私は信念の野糞を始めた。以来42年、既に13,000回を優に超える野糞を実践し、食べて奪った命を返す日々を送っている。

動物だけでなく植物も菌類も、生き物であれば生きるために必ず食べて養分を得、残りカスをウンコとして捨てているはずだ。菌類は動植物の遺骸やウンコを食べて生活しているが、少し具体的に言うところのことになる。

例えば、落ち葉に生えるキノコはまず、落ち葉に辿り着いた胞子が発芽して菌糸になり、菌糸から酵素を分泌して落ち葉を消化し、必要な養分を吸収する。これがキノコの食事だ。その

一方で不要な落ち葉の分解物は土の中に残り、分解で生じたCO₂は空中に放出するが、これがキノコのウンコの正体だ。

次に植物が、この土中にあるキノコのウンコを根から吸収して食べ、葉では光合成という方法で食事をするが、その時食べるのがキノコのウンコであるCO₂だ。植物にとって必要な栄養素は糖を作るためのC（炭素）で、残りカスのO₂（酸素）はウンコとして空中に排泄する。

そして我々ヒトを含めた動物は、有機物である植物の体を食べるだけでなく、植物のウンコである酸素を呼吸で取り込んで始めて、生存が可能になる。この菌類→植物→動物→菌類→……と無限に続く生態系の命の循環は、実はウンコによって成り立っていたのだ。

人間社会では恩人への感謝に贈り物をするが、それは自分にとっても価値のある高価な金品であるため、自己犠牲を伴う。ところが自然では自分を生かしてくれた者への恩返しに、不要になったウンコを差し出すだけでいい。何十億年と云う時間をかけて、自然は一切無駄のない理想のシステムをつくり上げたのだ。

ところが人間は、特に現代の文明人は、事もあるうちに極めて偏狭な思考でウンコを不潔な汚物だと決めつけ、わざわざ燃やして灰にしてコンクリートに固め、何より大切な命の繋がりを断ち切っている。

科学や医学などの進歩により、人々は豊かで快適な生活を送り、死さえ遠ざけて人口は70億に達した。しかしその裏では、地球規模での環境破壊や資源枯渇、食糧不足などを引き起こした。これまで人類が希求してきた夢や理想などは、自然が無限に豊かであると云う前提でのみ叶うものなのに、自然の命（ウンコ）への無知と科学への過信で、とうとう崖っぷちまで来てしまったのだ。手遅れになる前に一刻も早く聡明な解決策を見出さなければならない。そのための大きなヒントが、私の提唱する「糞土思想」の中にあるに違いない。この「糞土思想」を広げるため、講演のご依頼があれば全国どこへでも伺います。

「食は権利・ウンコは責任・野糞は命の返し方」
「ウンコに向き合うことは、自分の生きる責任に向き合うこと」

◇ ビジター紹介

和歌山R C……4名、竜ヶ崎R C……1名
水戸東R C……1名、しもだて紫水R C……1名
(ゲスト 1名、ビジター 7名)

◇ ゲスト紹介

養土師 伊沢 正名氏

◇ 地区大会ご案内

第2820地区副幹事 小島 孝行氏



今週末につくば市で開催される地区大会に向けて、ホストクラブ一丸となって準備を進めています。

土曜の、会長幹事会、地区指導者育成セミナー、R.I.会長代理晩餐会、そして翌日開催の大会本会議、懇親会へ、1人でも多くのご来場をお待ちしております。

◇ 和歌山R Cご挨拶

和歌山R C元会長 櫻畑 直尚氏



本日は和歌山から4名で、水戸R C 65周年のお祝いに駆け付けました。関東でも基軸となる水戸R Cと和歌山R Cは友好クラブであります。その友好を、昨夜も水戸の街で、楽しく深めさせて

頂きました。同期会長の川崎さんにもお会いでき、懐かしく感じております。

和歌山R Cは来年80周年を迎えます。4月22日に記念式典を予定しておりますので、是非、お出かけ下さい。御三家の縁もありますので、未来永劫のお付き合いをお願いして挨拶とさせて頂きます。

他3名 木綿 紀文 会員、川端 貞喜 会員、松尾 泰明 会員

◇ 会長の時間

八文字会長

遠路、和歌山の地から65周年のお祝いのためご出席いただきました。本当に有難うございます。来年の80周年には多くの会員と共に、お邪魔したいと考えております。

先週の例会終了後には、前橋R C観桜会に12名で参加してきましたが、まさに桜のトンネル、満開の桜と美味しいフレンチを楽しんで参りました。先程、地区の小島副幹事がPRされた今週末の地区大会への参加を再度お願いして、会長の時間とします。

◇ 出席報告

中山委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
120名	80名	40名	70.80%

前週訂正出席率 69.30%

前々週訂正出席率 78.95%

◇ 会員メイクアップ

4/6 水戸R A C 秋山 現信、成田 浩明
萩原 武

4/9 インターアクト委員長並びに顧問会議
衣笠 勉、西 修

4/9 地区研修・協議会
井上 壽博、幡谷 誠、大久保博之
横須賀良一、長野 久嗣、衣笠 勤
但野 友久、高沢 彰、高原 裕
成田 浩明、砂押 憲正、田中 邦彦
安 圭一、稲毛 一樹、後藤 直樹
大和田佳典、磯崎 寛也

◇ にこにこBOX

大和田副委員長

和歌山R C……水戸R C 創立65周年誠におめでとうございます。八文字会長はじめ今回の訪問では大変お世話になりありがとうございます。

八文字会員……和歌山ロータリークラブの皆様、ようこそおいでいただきましてありがとうございます。

ございます。又、入学式無事終了致しました。
田中会員……和歌山ロータリークラブの皆様、
ようこそ水戸へお越しいただきました。ごゆっ
くりお過ごしください。

大久保会員……片岡会員6人目のお子様お誕生
おめでとうございます。

安(徹)会員……息子が水戸に帰ってきました。
内藤会員……和歌山ロータリークラブの皆さま
ようこそ水戸へ。ごゆっくりお過ごし下さい！

山口(晃)会員……和歌山RCの皆様、水戸へお
越し頂き誠にありがとうございました。また
昨夜もありがとうございました。

二川会員……和歌山ロータリークラブの皆様よ
うこそ水戸へお越し下さいました。

黒田会員……今日の卓話宜しくお願い致します。
羽多野会員……誕生日祝いありがとうございました。

足立会員……妻のバースデーフラワーありが
とうございました。

宮本会員……妻の誕生祝のお花ありがとうございました。

本日の合計	12件	80,000円
-------	-----	---------

◇ 財団BOX

幡谷 誠会員……財団の友献金
(第9回) \$100 11,600円 (累計\$5,900)

小林大次郎会員……財団の友献金
(第7回) \$100 11,600円 (累計\$4,700)

太田 正明会員……財団の友献金
(第4回) \$100 11,600円 (累計\$3,400)

安 徹会員……財団の友献金
(第1回) \$100 11,600円 (累計\$3,100)

片岡 宗蔵会員……財団の友献金
(第4回) \$100 11,600円 (累計\$1,400)

長野 久嗣会員……財団の友献金
(第1回) \$100 11,600円 (累計\$1,100)

谷川 好一会員……財団の友献金
(第4回) \$100 11,600円 (累計 \$400)

二川 泰久会員……財団の友献金
(第3回) \$100 11,600円 (累計 \$300)

稲毛 一樹会員……財団の友献金
(第3回) \$100 11,600円 (累計 \$300)

宮本 章会員……財団の友献金
(第2回) \$100 11,600円 (累計 \$200)

横須賀 靖会員……財団の友献金
(第1回) \$100 11,600円 (累計 \$100)

この計	11件	127,600円
-----	-----	----------

◇ 米山BOX

安 徹会員……米山功労者献金
(第8、9回) 20,000円 (累計790,000円)

横須賀満夫会員……米山功労者献金
(第8回) 10,000円 (累計580,000円)

小田部 卓会員……米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計120,000円)

笹原文夫会員……準米山功労者献金
(第4回) 10,000円 (累計 40,000円)

吉原 清寿会員……準米山功労者献金
(第4回) 10,000円 (累計 40,000円)

宮本 章会員……準米山功労者献金
(第3回) 10,000円 (累計 30,000円)

浅桜 理樹会員……準米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計 20,000円)

杉江 信彦会員……準米山功労者献金
(第1回) 10,000円 (累計 10,000円)

柳沢 一道会員……準米山功労者献金
(第1回) 10,000円 (累計 10,000円)

この計	9件	100,000円
-----	----	----------



週報担当 稲毛 一樹 委員

例会予告

4月19日(火)
— イニシエーションスピーチ —
卓話「社会を支える“百年企業”へ」
田母神博文 会員

4月26日(火)
卓話「ワインを美味しく飲むために」
シニアソムリエ 飛田二三雄 氏
(水戸西ロータリークラブ)

5月 3日(火)
— 憲法記念日に付休会 —

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……